

あとがき

大変遅くなりましたが、環境科学年報 22 巻を無事出版することができ安堵しております。出版にご協力頂き、原稿をお送り頂きました皆様には心から御礼申し上げます。また同時に、出版の遅れに対しまして深くお詫び申し上げます。私は原稿集めには協力する予定でございましたが、印刷作業まではお引き受けできない状況に御ざいましたので、お断りしてきました。当然、前事務局の仕事としてやって頂けることになっておりました。しかし、不本意ながら、最終的には印刷まで引き受けざるを得ないはめになり、他の多くの仕事と拮抗し、出版が遅れることになってしまいました。

さて、信州大学大学院工学系研究科博士課程の地球環境システム科学専攻が理学部に開設されて 3 年がたち、第 1 期生の卒業期を迎えています。少ないスタッフと予算の中で、その教育研究には大変な苦勞を感じますが、その重要性を考えたとき、それにも増して取り組む勇気が沸いてくるといえます。また、これに加えて全学的な協力体制の下で取り組む本環境科学研究会のような研究会から研究、教育の両面で支援を頂けることは、この課程の教育研究を非常に充実させる効果があると考えます。同様に、大学当局が本専攻の充実のために、ここに収録致しました学内研究、教育助成を採択されたことは大変な英断であると感謝致します。

ここでは、これらの助成に関係した生物学に関係した成果を主に発表させて頂きましたが、地球科学の側面でも着実に成果を上げておりますことを御報告申し上げます。発表の場を与えられた信州大学環境科学研究会に対しても一言お礼申し上げます。

最後に、環境科学研究会が新たな出発に向けて一層充実した会として発展することを祈念致します。

平成 13 年 2 月 14 日

信州大学理学部生物科学教室 藤山静雄